

2016 7. vol.49

社会福祉法人

# 愛媛いのちの電話



1985年電話相談を開始し31年目を迎えました



白くまピース

写真提供：愛媛県立とべ動物園

ひとりぼっちで悩まないで……

## CONTENTS

### 公開講演会

- ・「生きづらさをかかえている若者たち」
- ・応援しています いのちの電話
- ・平成27(2015) 年度事業報告
- ・第36期前期公開講座スタート

相談電話 **089-958-1111**

毎月1日～10日：昼12時～翌朝6時  
11日以降：昼12時～午後10時

インターネット相談

<http://inochinodenwa-net.jp/>

※お受けできる相談の数には限りがありますので、ご了承ください。

# 生きづらさをかかえている若者たち

～困ったと言える子ども・気づく大人であるために～

講師 川野 健治

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 自殺予防総合対策センター  
自殺予防対策支援研究室長



## 子どもの自殺が9月1日に最大になる (内閣府調査)

去年、鎌倉市図書館がTwitterで『学校が始まるのが死ぬほどつらい子は、学校を休んで図書館へいらっしゃい…』とツイートし、多くの共感が寄せられ話題になりました。これに対し、『死ぬほど…』とかいう言葉は子どもの自殺を誘発するのではないか、『何も言わないよ』は無責任だ、『休んでいいよ』は不登校を助長するのではないか、という声もありました。

子どもたちのことを気にかけ見守っているのだけれど、立場や考え方の違いで、大人たちの中でも意見が分かれてしまうということです。

皆さんだったら、どの意見に賛成しますか。あるいはどの立場に共感しますか。

## 若者の自殺が減らない(年代別自殺率より)

年間3万人以上と言われていた自殺は、2011年以降少し下がってきましたが、10代～30代の死因第1位はずっと自殺で、なかなか減りません。日本だけでなく世界中が抱えているテーマですが、実はまだよく分かっていないと思うのです。世界保健機関(WHO)のデータによると、自殺された方の9割は何らかの心の健康問題があったと報告されています。

1つは、気分障害や境界性パーソナリティー障害で、比較的危険度の低い自殺行動(リストカット、過量服薬など)を何度も繰り返す「慢性的」な経過をたどるパターンです。支援者側が自らの感情を制御できなくなり「もういい加減にしてよ!」と疲れてしまいます。そうならないよう、粘り強く支援できる体制作りが大事です。

もう1つは、統合失調症や発達障害などで、致死性の高い手段(飛び降りなど)を選ぶため、「突発的」と感じられるパターンです。平気な顔をしていたりするので、支援する側は分かりにくく、ある日つらさが高まって亡くなったかに見えます。見えないはっきりしないような「生きづらさ」を、周りがどう理解していくかが大事だと思います。

## リストカット

手首だけでなく、一晩中壁に頭を打ち付けたり、髪の毛を抜いたり、首筋を切るなど、いろんなことで自傷している子どもたちがいます。

問題は自らを傷つけると聞くと、どうも私たちは「死ぬつもりも無いくせに、周りを心配させるアピールではないか」という気持ちにもなります。何度も繰り返されると、「なんなの!」という気持ちに、支援者側はなってしまいます。

『なんでそんなことをするのか?』というアンケートをしたところ、73%の子どもたちは、つらい気持ちから解放されたかったと答えています。(他、死にたかった53%、自分を罰したかった46%、周囲の注意をひきたかった24%、驚かせたかった21%、仕返し14%)これはとても難しい問題だと思います。

やめさせようとするとうどうなるか?つらさだけが残ることになります。これでは支援ではなく、追い詰めるだけになってしまいます。

健康な者からすれば不適切にみえる行為でも、本人にとっては生きていくための方法なのです。どういう理解を持って声を聞くかが必要だと思います。

精神科医は「自傷をやめなさい」と言いません。親がアルコール依存症や精神障害、DV、離婚、貧困など子どもにはどうすることも出来ない環境や、親たちが行動を変えてくれない背景があるとしたら、自分にできることとしてはこれしか知らないのです。問題は、これでスッキリすることを覚え、同じことばかり試そうとすることです。

この時、精神科医はこう言います。「大変だったな。よく相談してくれたね。今日までよく頑張ったね」。大人に認められる、支援者から褒められると分かったら、子どもたちは自傷以外の対処方法を見つけることが出来ます。

その次に、「万が一、エスカレートしたら大変だよ」と心配する気持ちを伝えましょう。相談することが自傷の代償になることを、また手当てをしてくれることは自分を気遣ってくれている事だと知ります。

「つらくなったら、切る代わりに何をしたらいい?」「また切りたくなったら、相談してね」と、人と話すことを続けてもらうことです。無意味に切らない約束をさせると、「約束を守れなかった。もう会えない」と来なくなり、支援が終わってしまうからです。

リストカットは、身体の痛みで心の痛みを蓋をするという鎮痛効果がありますが、耐性と依存性もありエスカレートしていきます。自傷行為自体に反応をするのではなく、冷静に問題を見つめることです。説教より一緒に考えることが大切で、環境の調整、特に保護者（親）との連携は欠かせません。

## ゲートキーパー（内閣府の自殺対策）

「みんなが自殺というものにとらわれず、支えていくような活動に取り組みましょう」という自殺対策が進んでいます。悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことをゲートキーパーと呼んで日本中で研修が行われています。

「なんか元気ないけど、どうしたの?」「最近眠れてる?」と声をかけてあげましょう。誰でもゲートキーパーになれるのです。

相手の気持ちに寄りそって聞きましょう。「そんなこと言うのやめて」などと否定せず、せかさず沈黙も共有して、心配していることを伝え、「大変だったね。よくやってきたね」とねぎらいましょう。「話してくれてありがとう」と感謝を伝え、早めに専門家に相談することが大切です。本人の同意を得て確実につなぎ、その後も相談にのることを伝えましょう。

一緒に考えてくれる人が、何より心の支えになります。『いのちの電話』も話を聴いてもらえますよ。「私には心配してくれる人がいる」「私にも人のために出来ることがある」と思ってもらうことが大事だと思います。

## 困れるように育てる

今日は子どもたちのリスク、悩んでいる人のつらさに気づいて、どうすればいいかという事を考えてきたのですが、そもそも気づきにくいですよ。なぜかと言うと、自傷する若者は大人に相談しません。つらかったらすぐ言って欲しいし、困っている時は困っていると表現して欲しいですね。そうして貰えるように、今、学校で行う自殺予防教育というプログラムを作っています。

「つらくなったら、大人に相談してね」いざ命を守ることに関しては、その子がどのようににつら

いか理解し、認めてあげて、ねぎらうことが大切だと思います。

（文責 広報委員会）

### 小学校における 自殺予防教育プログラム（GRIP）

気持ちと、動くことや考えることは、  
つながっています



だから、気持ちをすっきりさせたり、  
よい気持ちでいることはたいせつ

誰かに気持ちをきいてもらうと  
すっきりするのはなぜ?



グループかつどう2  
そうだんにのる セリふ を考える

- ・ともだちからのそうだん
- ・むずかしい問題なので
- ・ともだちが、大人にそう  
だんできるように、すす  
めよう



こころが苦しいときに思い出して

一人で考えて、考えて、苦しくなったら、  
ちょこっと、二人で話してみよう。  
むずかしいことは、三人めに大人をみつめて、そうだん。  
気持ちが、ばあーっと、晴れたら、  
ぎゅっと、その気持ち、つかめ。



※小学校における自殺予防教育プログラム  
GRIPホームページより抜粋

この講演会は、厚生労働省自殺防止対策補助事業の一環として毎年開催しています。



## 応援しています

愛媛県生活協同組合連合会 顧問  
愛媛いのちの電話後援会 副会長  
立川 百恵

今年の4月、ユニセフは日本の子どもの貧困格差が先進41か国中34位と報告しました。近年子どもの貧困は急速に進み、ひとり親世帯の相対的貧困率は50%を超え、OECD加盟国34か国中最悪になっています。6人に一人と言われる貧しい子どもは、その親が生活に困窮していることを意味しています。

私は、長年ユニセフの活動に参加してきましたが、敗戦後、子どもだった私たちの栄養失調をなくそうとユニセフが脱脂粉乳を贈り続けてくれ、日本の子どもは飢えをしのぎました。それ以来、経済成長を遂げた日本は国も民間もユニセフへの支援を活発に行っています。この間、ユニセフは途上国の子どもたち、紛争地域の子どものために手を差し伸べてきました。そして、東日本大震災で久しぶりに日本はユニセフから支援を受けました。東北の子どもたちがユニセフのスタッフが入った折、「ごめんなさい。今僕お金を持ってないの」といったという話を聞いて、日本では子どもたちまでユニセフといえば、手を差し伸べる側と思い込んでいることを改めて感じた一言でした。

ところが、いま日本では多くの子どもたちは貧困にあえいでいます。そのことを知って、「子ども食堂」「無料学習塾」など居場所作りも兼ねた

取り組みも広がり始めています。戦闘地域でもなく、経済大国と言われる日本でこうした困難が広がっていることは大変なことです。競争社会の中で、落ちこぼれなどの言葉が平気で出されるのは悲しいことです。弱い立場の人が捨て置かれる社会は健全とは言えません。

「いのちの電話」で「声」を受け止めていただいている皆さんは、きっと多くの社会が抱える矛盾をお聞きいただいていることでしょう。人の苦しみに丁寧な耳を傾けることは大変な努力を要します。本当にありがたいことと、日頃から敬意を表しています。私たちは、こうした声の中から学ぶことを注意深く考えたいと思います。息苦しくなった中で差し伸べられる手もなく心を閉ざしている人たち、子供の成長を助けることができず落ち込む親たち……電話につながらない多くの声が潜んでいることでしょう。肉体的・精神的・経済的ハンディキャップを余儀なくされている人たちが、支障なく生きられる社会を夢見ます。そうした人たちの生活に触れ、存在を知った人たちがハンディキャップを取り除く手助けをし、社会全体が課題を解決する努力をすることができればと願っているところです。



## 愛媛いのちの電話開局30周年記念チャリティコンサート 松山パッハ合唱団第45回定期演奏会のご報告

日 時：2016年1月24日（日）

場 所：松山市民会館中ホール

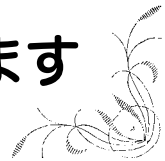
1月24日コンサート当日、松山としては記録的な冷え込みとなったにもかかわらず、大勢の皆さんが会場にあふれ、松山パッハ合唱団の根強い人気のほどが窺えました。イタリア協奏曲、古典モテット集、カンタータ70番と147番、アンコールのクリスマス・オラトリオ、とどれも力のこもった充実のプログラムで、開局30周年に華を添えていただきました。



コンサートの収益から愛媛いのちの電話後援会に、30万円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。



# あたたかいご支援 ありがとうございます



2015年11月1日～2016年4月30日までに、次の方々から社会福祉法人愛媛いのちの電話への寄付または愛媛いのちの電話後援会への会費としてご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。(五十音順・敬称略)

## 個人

|        |       |       |        |       |       |        |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 新玉 真美  | 井口 美栄 | 池川 道和 | 石川 和史  | 一ノ宮孝司 | 稲葉 隆一 | 井上美奈子  |
| 印南 敏彦  | 大久保雅代 | 岡野 鏡子 | 岡部 健一  | 沖元てるよ | 小倉 正  | 越智 京子  |
| 梶原 万裕  | 加藤 泰三 | 川崎 佳子 | 川崎 由美  | 菊池由美子 | 木村すみれ | 木村多恵子  |
| 国田 敦彦  | 国久 清司 | 久保スミ子 | 桑田 敬子  | 桑田佳代子 | 河野 浩  | 五領田眞理子 |
| 城賀本早智子 | 菅 温子  | 高内美代子 | 高須賀久仁子 | 高田 義之 | 高野 順子 | 高橋 良子  |
| 武井 義定  | 武井 建治 | 竹下 裕子 | 竹中真由美  | 竹本 仁弘 | 田中都智美 | 玉井 正子  |
| 垂水 真人  | 中條 泰行 | 鶴井 善子 | 徳増紀久子  | 戸田 佳乃 | 富永 和子 | 永井 和美  |
| 中村 安子  | 中矢 佳男 | 西岡美矢子 | 西澤真美子  | 西村 紀子 | 西本 瞳  | 野口理英子  |
| 野村 実   | 畑中企仁子 | 羽藤 節子 | 林 浩美   | 東 麗子  | 日野 智仁 | 兵頭 早苗  |
| 平林 茂代  | 福岡 幸子 | 福原 千佳 | 藤木 信一  | 藤田純一郎 | 藤本 理恵 | 松田 史子  |
| 松本 伸郎  | 三神 幸子 | 三神 弘子 | 三木 優子  | 三木 茂円 | 宮崎 節子 | 宮本 幸   |
| 村上 広子  | 村角千代子 | 村瀬 宏之 | 本 裕美   | 森岡 仁子 | 森田 貞子 | 森山加代子  |
| 矢野 和枝  | 山形 久子 | 弓達ますみ | 横山 真一  | 好永 定  | 芳野 恭子 | 吉見 和子  |
|        |       |       |        |       |       | 渡部茂由子  |

## 団体

|                |              |                        |
|----------------|--------------|------------------------|
| 東汽船(株)         | (医)青峰会 くじら病院 | 富晴産業(株)                |
| 安藤工業(株)        | 国際ソロプチミスト松山  | 芙蓉海運(株)                |
| (医)飯尾小児科・内科    | 日本基督教団松山古町教会 | (株)母恵夢本舗               |
| (株)イオタオーエーシステム | 日本基督教団西条栄光教会 | (財)松山済美会               |
| (医)今村循環器科内科    | 四国建設機械販売(株)  | (株)松山建装社               |
| (株)エム・ワイ・ティ    | (財)正光会宇和島病院  | 松山東雲女子大学・短期大学キリスト教センター |
| おりひめ友禅(株)      | (財)正光会御荘病院   | 松山パッパ合唱団               |
| (医)かざはクリニック    | 白石・安藤法律事務所   | (医)眞理こころのクリニック         |
| (株)門屋組         | 日本キリスト教団丹原教会 | 日本基督教団三島真光教会           |
| (株)カネシロ        | 日本キリスト教団砥部教会 | 宮本歯科医院                 |
| (株)関西建物        | 新居浜商工会議所女性会  | 連合愛媛                   |
|                | (株)日東物産      | ロッキー産業(株)              |
|                | 伯方造船(株)      |                        |

## 商品提供

イオンテール(株)松山支店    マックスバリュ西日本(株)



# 社会福祉法人 愛媛いのちの電話 事業報告

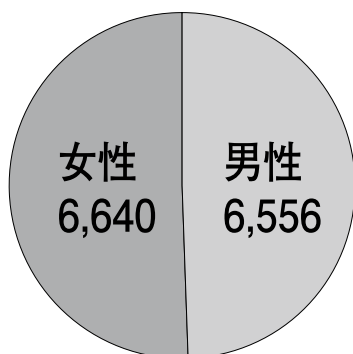
## 電話相談受信状況 (2015年1月1日～2015年12月31日)

- 1、受信時間 1日～10日 12時～翌朝6時  
11日～月末 12時～22時
- 2、相談員 84名（実働75名）
- 3、受信件数 13,196件  
そのうち自殺志向のある相談  
1,175件（8.9%）

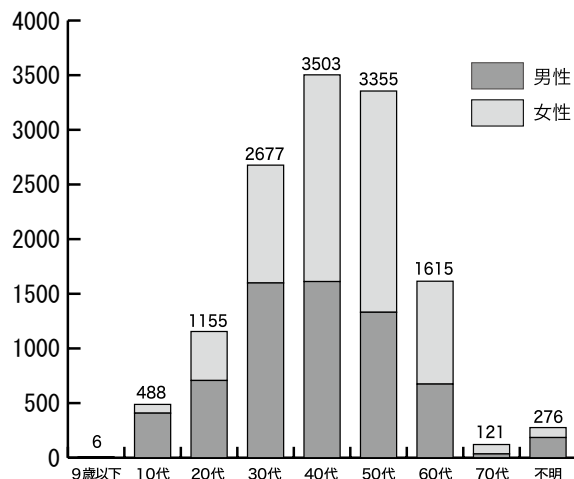
### ▼ 年間相談件数

|       | 相談件数   | 月平均相談数  | 1日平均相談数 |
|-------|--------|---------|---------|
| 2015年 | 13,196 | 1,099.7 | 36.2    |
| 2014年 | 12,890 | 1,074.2 | 35.3    |
| 2013年 | 12,527 | 1,043.9 | 34.3    |
| 2012年 | 10,887 | 907.3   | 29.8    |
| 2011年 | 11,265 | 938.8   | 30.9    |

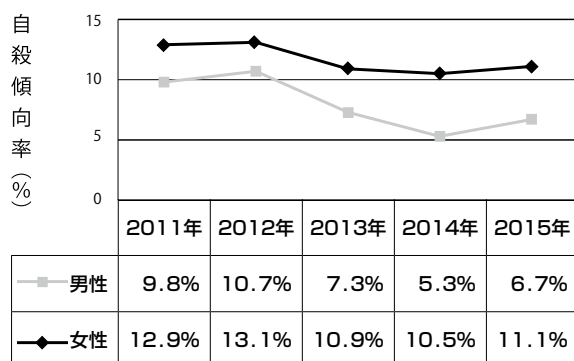
### ▼ 男女別相談件数



### ▼ 年代別相談件数



### ▼ 男女別自殺傾向率



自殺傾向率=自殺を訴えた相談件数／全相談件数

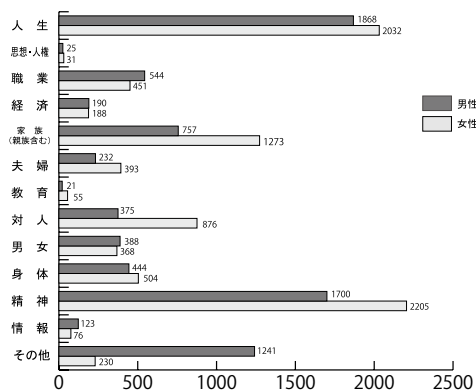
### 『イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン』

毎月11日にイオン松山店で実施されている『幸せの黄色いレシートキャンペーン』は、イオンさんと店に買い物に来られたお客さまのご好意で、集めたレシートの合計金額の1パーセントがボランティア団体に寄贈されるという、活動資金難のボランティア団体にとってはとてもありがたい催しです。現在イオン松山店では約30団体が登録をして、毎月11日にはイオン松山店に立ってお客さまにご協力をお願いしています。

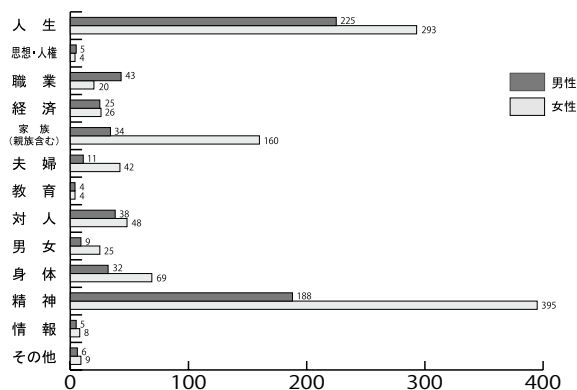
### ▼ 年代別相談者内訳

|      | 男性    | 女性    | 計      |
|------|-------|-------|--------|
| 9歳以下 | 5     | 1     | 6      |
| 10代  | 408   | 80    | 488    |
| 20代  | 707   | 448   | 1,155  |
| 30代  | 1,599 | 1,078 | 2,677  |
| 40代  | 1,612 | 1,891 | 3,503  |
| 50代  | 1,331 | 2,024 | 3,355  |
| 60代  | 674   | 941   | 1,615  |
| 70代  | 35    | 86    | 121    |
| 不明   | 185   | 91    | 276    |
| 合計   | 6,556 | 6,640 | 13,196 |

## ▼ 問題内容別相談件数



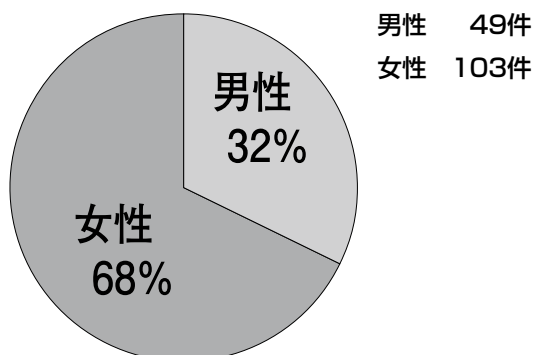
## ▼ 自殺を訴えた相談内容



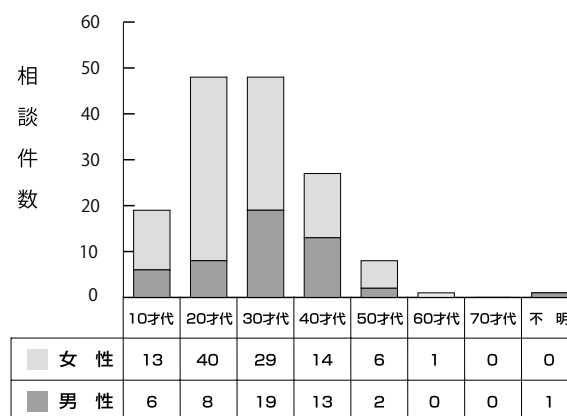
## インターネット相談実施状況 (2015年4月1日～2016年3月31日)

- 1、実施日 合計24日 (1月に2日)
- 2、担当相談員 15名
- 3、受信件数 152件  
そのうち自殺志向のある相談 36件 23.7%

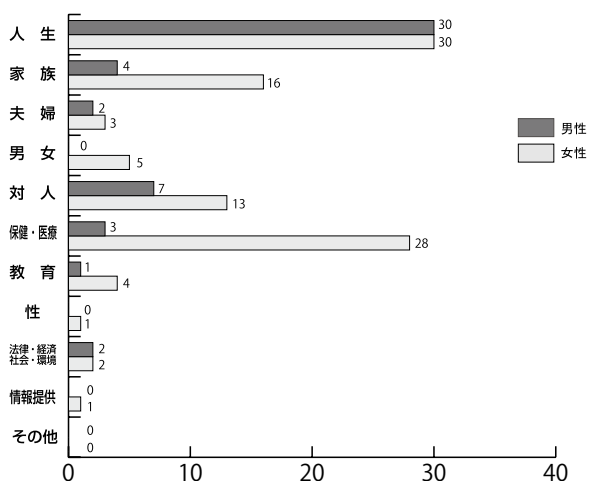
## ▼ 男女別相談件数



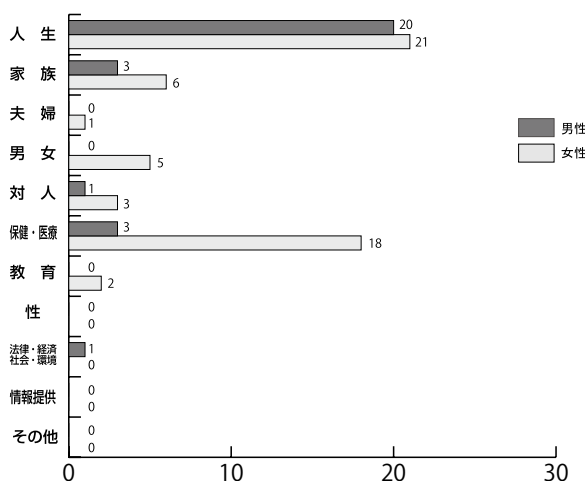
## ▼ 年代別相談件数



## ▼ 問題別相談件数



## ▼ 自殺を訴えた問題別相談件数



## 事業報告

# 平成27(2015)年度 事業報告 (2015年4月1日～2016年3月31日)

### 1、理事会・評議員会の開催

- 5月20日 理事会および評議員会  
平成26(2014)年度 事業報告、決算報告  
欠員補充のため理事1名を選任 横田和子氏  
欠員補充のため評議員1名を選任 名智咲子氏
- 12月9日 理事会  
平成27(2015)年度上半期事業報告、会計報告  
開局30周年記念行事について
- 3月16日 理事会および評議員会  
平成27(2015)年度補正予算  
平成28(2016)年度事業計画、予算について  
定款の変更

### 2、電話相談事業

- 受信時間  
相談時間10時間(毎日12時～22時)  
月初め10日間は(12時～翌朝6時)  
電話2台 受付番号 089-958-1111
- 相談員(2015年4月1日現在)  
登録相談員 84名(男21名、女63名)  
実働相談員 75名(男21名、女54名)  
実習 16名(男1名、女15名)
- 受信件数(2015年1月から12月)  
相談件数:13,196件(1日平均36.2件)  
そのうち自殺傾向のある電話:1,728件 13.0%  
※参考(2014年1月から12月)  
相談件数:12,890件(1日平均35.3件)  
そのうち自殺傾向のある電話:1,021件 7.9%
- 新居浜分室(2015年1月から12月)  
毎月3回の実施 受信件数:1,185件(1日平均32.9件)
- インターネット相談(2015年4月～2016年3月)  
毎月2回の実施 相談員数 15名  
返信数:152件 自殺傾向のある相談36件(23.7%)  
※実施10センター全体での返信数:3,065件  
自殺傾向率:46.2%(前年43.0%)

### 3、電話相談員の養成と研修

- 電話相談員養成講座  
第34期 4月から9月まで16名が実習、認定14名  
10月8日 認定証 授与式  
第35期 5月9日 傾聴スキルアップセミナー 開講  
受講者:20名  
7月4日 終了  
8月1日 後期受講希望者 面接:5名  
9月5日 養成講座後期開講 受講者:4名  
3月12日 修了式 修了者:4名

- 現相談員の継続研修(月1回)

- ① 毎月1回のグループ研修  
継続グループ数 9グループ  
(1年目のわかば、2年目の青葉を含む)  
訓練委員 7名 青野篤子、大久保雅代、武井義定  
名智咲子、野口理英子、平林茂代  
横田和子

- ② 全体研修会 6月14日「危機介入について」  
担当講師 武井理事長 参加:63名  
(NHKの取材 あり)

- ③ ネット相談員 研修  
コーディネータ養成研修(東京) 8月29～30日  
参加 ネット相談員1名と大久保理事  
相談員養成研修(東京)10月10～11日 参加:4名  
相談員継続研修  
Ⅰ福岡いのちの電話 松尾先生 10月31日  
Ⅱ東京いのちの電話 西川先生 11月23日  
Ⅲ愛媛いのちの電話 野口先生・横田先生 12月5日  
Ⅳ愛媛いのちの電話 大久保先生  
愛媛県心と体の健康センター 梶原先生 1月23日

### 4、委員会活動

- 研修企画委員会 各研修会、来年度の養成講座の企画と検討、相談員の認定
- 相談委員会 相談室内の問題点等を検討  
相談員の親睦 全体会の企画
- 広報委員会 外報誌「愛媛いのちの電話」47号(事業報告を含む)、48号を発行
- 財務委員会 イオンデー:毎月11日、黄色いレシート  
キャンペーンに参加  
イオン松山店 52,200円  
マックスバリュ今治阿方店 47,000円  
外報誌を後援会会員に郵送
- 事業委員会 相談室内のフリーマーケット  
30周年記念行事受付  
NPO法人パステルクラブ内心身障害者  
作業所パステル工房のクッキー販売  
クッキー売上:14,400円  
相談室内のバザー売上:15,678円
- 統計委員会 通常の相談電話とフリーダイヤルの統計処理  
連盟への報告
- 運営会議 各会議、委員会、事務局の連絡、報告  
事業の計画・実施について討議



## 事業報告

### ・30周年記念行事実行委員会

4/21、5/26、6/25、7/21、8/27、9/17

### ・30周年記念誌編集委員会

2014年 8/25、9/18、10/20、11/20、12/22

2015年 1/7、2/5、3/9、4/2、5/13

6/1、7/2、7/15、7/23、7/30

8/5、8/17

9月1日に記念誌を発行 1,500部

### ・事務局 内報誌「なかま」の発行 毎月1回

助成金の申請、報告等

#### ① 日本郵便㈱ 2016(平成28)年度年賀寄付金配分

申請11月6日「コピー機の更改事業」不採択

#### ② 愛媛県精神保健福祉協会

「愛媛県精神保健福祉思想普及事業費補助金」

#### ③ 赤い羽根共同募金

その他 事務全般を担当

### 5、平成27年度愛媛県自殺予防緊急対策委託事業

「インターネット相談の拡充」

5月22日契約 交付500,000円

### 6、愛媛県三浦保愛基金「夏井いつきの句会ライブ」

5月29日 採択 450,000円の交付

### 7、全国のセンター、連盟との連携

#### (1) 厚生労働省補助事業

##### ・フリーダイヤル自殺予防いのちの電話

毎月10日午前8時から11日午前8時まで

受信件数：784件（1日平均65.3件）

そのうち自殺傾向のある電話：171件 21.8%

##### ・公開講演会 2月6日(土)14:00～16:00

コムズ 5階大会議室 参加：70名

演題：生きづらさをかかえる若者たち

～困ったと言える子ども・

気づく大人であるために～

講師：川野健治氏

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所自殺予防総合対策センター

#### (2) 日本いのちの電話連盟の会合

6月4日 一般社団法人日本いのちの電話連盟

定期総会（東京）理事長 出席

7月5～7日 全国事務局長会議（東京）

事務局長 出席

6月17～18日 第3回中国・四国いのちの電話事務局

会議（広島）2名 出席

10月16～18日 第33回全国相談員研修会かごしま大会

参加：4名

11月7日 全国研修担当者会議 2名 出席

### 【インターネット相談】 今年度から連盟の事業

6月6～7日 スーパーバイザー会議 1名 出席

2月28日 相談実施センター担当者会議 2名 出席

スーパーバイザー会議 1名 出席

### 8、愛媛県松山市諸機関との連携

#### (1) 愛媛県指導監査 2月19日

指摘事項 理事会・評議員会の出席率

苦情処理体制の整備 その他

#### (2) 愛媛県自殺予防対策連絡協議会 8月5日

#### (3) 愛媛県被害者支援連絡協議会定例会 9月25日

#### (4) 第63回愛媛県社会福祉大会 10月6日

愛媛県社会福祉協議会会長表彰

#### (5) 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤル24」への協力

#### (6) 松山市自殺対策推進委員会 5月28日、1月28日

#### (7) 松山市自殺対策関係機関連絡会 12月2日

#### (8) 松山市自殺予防週間啓発活動協力 9月10日

### 9、愛媛いのちの電話開局30周年記念行事 9月13日(日)

#### (1) 30周年記念誌の配布

#### (2) 記念式典&「夏井いつきの句会ライブ」

14:00～ 松山市民会館中ホール 参加者：198名

記念のつどい

18:00～ 道後温泉大和屋本店 参加者：69名

## 平成27(2015)年度 役員

理事長 武井 義定

副理事長 谷本 治

理事 大久保雅代 奥村 武久 越智眞理子

草薙 順一 中山 淳 平林 茂代

森 秀人 横田 和子

以上10名

監事 近藤 猛 星加 修

以上2名

評議員 青野 篤子 足立 純一 石丸 裕司

大久保雅代 奥村 武久 越智眞理子

川崎 佳子 草薙 順一 武井 義定

谷本 治 中矢 吉男 中山 淳

名智 咲子 西澤 孝一 原 敏彦

平林 茂代 廣瀬 一郎 広瀬 満和

森 秀人 横田 和子 渡部 三郎

以上21名



# 平成28(2016)年度 事業計画 (2016年4月1日～2017年3月31日)

## 1、理事会・評議員会の開催

- 5月 理事会・評議員会  
27年度決算、事業報告、評議員・役員の選任
- 6月 理事会 理事長選任
- 12月 理事会 28年度上半期事業報告
- 3月 理事会・評議員会  
28年度補正予算、29年度事業計画  
29年度予算

## 2、相談事業

- 電話相談 相談時間10時間（毎日12時～22時）  
月初め10日間（12時～翌朝6時）  
新居浜分室での受信（随時…毎月4回）
- インターネット相談：毎月2日の受信
- 当番表の管理をインターネットで行うためのシステムを導入する

## 3、電話相談員の養成と研修

- 電話相談員養成講座  
第35期 前年度よりの継続  
4月から9月まで電話相談実習 4名  
第36期 傾聴スキルアップセミナー  
前期公開講座 全5回 5/14(土)～  
後期養成講座 全27回  
(1泊2日の宿泊研修を含む) 9月～3月
- 現相談員のグループ別継続研修（月1回）
  - 継続グループ数 9  
(1年目のわかば、2年目の青葉を含む)
  - 訓練委員 7名 青野篤子、大久保雅代、武井義定  
野口理英子、平林茂代、横田和子  
新訓練委員に梶原万裕氏(臨床心理士)
  - サポーター養成研修 2年目 2名  
特別研修会 4月23日
- インターネット相談
  - スーパーバイザー：大久保雅代、野口理英子、横田和子

## 4、一般社団法人「日本のいのちの電話連盟」 他センターとの連携

- 厚生労働省補助事業フリーダイヤル  
自殺予防いのちの電話に参加
  - 毎月10日 午前8時～翌朝8時(24時間)
  - 公開講座 2017年2月頃に開催予定
- 会議と大会
  - 5/27 社員総会(岡山)
  - 5/28 事務局局長会議(岡山)
  - 5/29 第4回中四国事務局会議(岡山)
  - 9/15～17 第34回いのちの電話相談員  
全国研修会 なら大会

## 5、運営組織の見直しと拡充

- 運営会議の開催（月1回）  
各委員会の連絡、諸行事の企画・実施
- 各委員会活動（月1回）  
相談、財務、広報、事業、統計、研修企画
- 外報誌「愛媛いのちの電話」（年2回）  
内部報（毎月）「なかま」の発行及び発送
- ホームページの更新、その他の広報活動
- 後援会との連携

## 6、愛媛県諸機関および松山市との連携

- 愛媛県自殺予防対策協議会  
愛媛県被害者支援連絡協議会への参加
- 松山市自殺対策関係機関連絡会  
松山市自殺対策推進委員会への参加
- 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤル24」への協力

## 7、その他

### 2016年度 予算

| 勘定科目         |              | 金額        |
|--------------|--------------|-----------|
| 事業活動による収支    | 収入           |           |
|              | 補助金事業収入      |           |
|              | その他の事業収入     | 600,000   |
|              | 会費収益         | 480,000   |
|              | 経常経費寄附金収入    | 5,270,000 |
|              | 受取利息配当金収入    | 3,000     |
|              | 雑収入          |           |
|              | 事業活動収入計      | 6,353,000 |
| 支出           | 人件費支出        | 2,869,000 |
|              | 事業費支出        | 1,300,000 |
|              | 事務費支出        | 1,777,000 |
|              | 事業活動支出計      | 5,946,000 |
|              | 事業活動資金収支差額   | 407,000   |
| 施設整備等による収支   | 収入           |           |
|              | 施設整備等収入計     |           |
|              | 支出           |           |
|              | 固定資産取得支出     | 600,000   |
| その他の活動による収支  | 収入           |           |
|              | 積立資金取崩収入     | 400,000   |
|              | その他の活動による収入計 | 400,000   |
| 支出           | その他の活動支出計    |           |
|              | その他の活動資金収支差額 | 400,000   |
| 予備費支出        |              | 207,000   |
| 当期資金収支差額計 合計 |              |           |
| 【資金残高】       |              |           |
| 前期末支払資金残高    |              | 7,254,908 |
| 当期末支払資金残高    |              | 7,254,908 |

# 2016年 第36期 前期公開講座スタート

5月14日（土）松山市若草町のハーモニープラザにて、「傾聴スキルアップセミナー（前期公開講座）」が開講しました。愛媛新聞、朝日新聞、愛媛CATVなど様々なメディアを通じて皆さまに講座を知っていただいたようで、多くの方々に受講いただいております。



|      | 日 時      | 内 容                         | 担 当 講 師                               |
|------|----------|-----------------------------|---------------------------------------|
| NO.1 | 5月14日(土) | 理事長あいさつ                     | 愛媛いのちの電話理事長<br>臨床心理士 勝山幼稚園園長<br>武井 義定 |
|      |          | カウンセリングについて<br>傾聴とは         | 愛媛県スクールカウンセラー<br>臨床心理士<br>大久保雅代       |
| NO.2 | 5月28日(土) | 精神科医となって40年                 | 真理こころのクリニック院長<br>精神科医<br>越智 眞理        |
| NO.3 | 6月4日(土)  | 現代社会とこころの危機<br>—ジェンダーの視点から— | 福山大学人間文化学部教授<br>青野 篤子                 |
| NO.4 | 6月18日(土) | 沈黙の声を聴く<br>吉野弘の夕焼けを通して      | 愛媛大学教育学部教授<br>壽 卓三                    |
| NO.5 | 7月2日(土)  | カウンセリングについて<br>具体的に学ぶ       | えひめ親子人間関係研究所所長<br>平林 茂代               |

## いのちの電話とは……

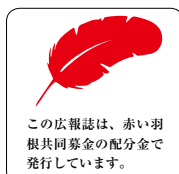
「いのちの電話」は、孤独の中にあって、時には精神的危機に直面し、助けと励ましを求めている一人ひとりと“電話”を通して耳を傾け、勇気を持って生きていけるように支援する電話相談ボランティアです。その活動は、現在40ヶ国以上に広がり、国際緊急電話援助連盟（本部ジュネーブ）も設立されています。日本では「日本いのちの電話連盟」に加盟する50センター7分室で約7,000名の電話相談員が活動しています。この活動は、特定の思想・宗教に拘束されない相互援助の善意の人々の活動として広がっています。「愛媛いのちの電話」は1985年に相談活動を開始し、2004年4月社会福祉法人となりました。又、2013年1月より「インターネット相談」を開始し、2015年に開局30周年を迎えました。



日本いのちの電話連盟 <http://www.find-j.jp/>

### 編集後記

今回初めて編集に参加しました。講演会の内容を字数制限の中で、より分かり易く、正しく伝えようと推敲を重ねる場に接し、今まで何気なく見ていた本誌が少しばかり愛おしくなりました。支えて頂いている方々に感謝をお伝えすると共に、目に留まった誰かにふっと手に取って貰えるものになっておりますように…そして『いのちの電話』の輪が少しずつ大きくなっていったら嬉しいです。(T. K)



発行 社会福祉法人 愛媛いのちの電話  
発行者 武井義定  
編集 広報委員会  
事務局 〒790-8691  
日本郵便株式会社  
松山中央郵便局私書箱158号  
TEL (089) 958-2000  
FAX (089) 958-2014  
<http://www.e-inochi.jp/>